

生涯学習 がんばっています!

少年野球教室に参加して、貴重な経験の中で、周囲の方に感謝を実感した少年。絵手紙を通して喜びを感じることができた女性。

今回は生涯学習講座の「少年野球教室」と「絵手紙教室」に参加された方の声を紹介します。

少年野球教室を振り返って

あんどう たつや
安藤 達也さん

僕たち、豊山中学校野球部は、十二月九日の少年野球教室に参加させていただきました。元プロ野球選手の鹿島さん、井上さん、現役選手の石岡さんが講師として指導してくださりました。プロ野球選手の方から直接指導していただけるということで緊張しましたが、大変貴重な経験をさせていただきました。この日見たプロ野球選手の方々の体はとて大きく、打球も速く、遠くに飛んでいたのも、やはりすごいと思いました。部員の皆もとても集中して講習を受けていました。

守備では、野手はポジション別に守備のポジションを、投手はピッチングフォームを教えてもらいました。打撃では、細かい修正部分や打席に入ったときの心構えを学びました。一番大切なことは必ず全力で振るのだということが印象に残りました。普段のバッティングの時にも注意していることですが、改めて大事なことでありと気づきました。部員の皆も改めて日頃、部活動で先生から指導をしてもらえることがたさを感じることが出来たと思います。

改めて様々な方々から応援していただいていることに気づくことができました。これからも日頃から様々な方々への感謝を忘れないようにしたいです。そして、自分たちの目標に向かって日々、練習を積んでいきたいです。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。



絵手紙教室に参加して

はしもと のぶこ
橋本 信子さん

「へたでいい、へたがいい」の絵手紙教室の募集を見つけ、とても楽しみに参加させて頂きました。気さくで明るく優しい先生で毎回教室は笑顔で楽しい雰囲気になっていました。先生は、一人ずつ丁寧に手本を描いて下さり、いろいろな手法を惜しみなく教えて下さいました。「絵手紙ってこんなにも楽しいのね」と受講生は皆感じたと思います。下書きをせずいきなり筆で描くことは皆最初は、とまどいながらも、物をよく観察して勇気をもって筆をすべらせました。練習を重ねるうちに、それぞれ個性が出て下手でも味のある絵が描ける様になり無我夢中であっという間に時間が経ってしまいます。たった一枚の小さい無機質な葉書が、素直な言葉を添えた絵手紙によって、相手をホッと和ませる不思議な力を与えてくれます。ラインやメールでは味わう事の出来ない温か味のある絵手紙に私は、はまってしまいました。友人や孫に送って喜ばれ、私も嬉しくて小さな幸せを感じます。絵が苦手な人や若い若きも誰もが気軽に楽しめる絵手紙に出逢って本当に良かったと思います。これからもずっと続けていきます。先生、誠にありがとうございました。



チヨックボールに入って

たけし みれい
武石 未麗さん

私が、チヨックボールに入ってきたきっかけは、私が生まれる前からお父さんがやっていて、ふれあいひろばにチヨックボールがあったので入りました。私は、今まで団体スポーツをやったことがなく、初めはすごく緊張して声が出ませんでした。けど段々チヨックボールをやっていく内に、声が大きくなっていききました。志水小学校の人だけでなく、他の小学校の人達もいます。最初は、人見知りで声かけが全然出来なかつたけれど、チヨックボールは声をかけて仲間にはパスを出したりするので、ちゃんと声かけしないと上手くパスを回したり出来ないのです。声を出してチームで協力しようとしておたがいしつかりと声をかけ合い協力しながら試合が出来ています。

私は、チヨックボールに入るまでは、運動が苦手でした。でもチヨックボールに入ったら運動する事の楽しさを知れたし、友達も増えたのでふれあいひろばに入って良かったと思います。

